

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/06/30号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



地政学リスクの織り込み一服で急反落

NY原油先物相場は、1バレル=78.40ドルまで急伸して1月17日以来の高値を更新した後、65ドル水準まで急反落する展開になった。6月22日に米軍がイラン核施設を攻撃したことを受けて、供給不安の織り込みが更に強化されて一時急伸した。イスラエルとイランの軍事紛争が更にエスカレートしていきリスクが警戒された。しかし、23日引け後にトランプ米大統領がイスラエルとイランが停戦合意したと報告すると急落地合に転じ、イスラエルがイランに対する先制攻撃に踏み切る前の価格水準を割り込んでいる。まだ中東情勢は先行き不透明感が強い状況だが、大規模な供給障害が発生することなく、軍事衝突が終結したとの評価が原油安に直結した。

ただし、米原油在庫の急激な減少に加えて、為替がドル安に振れる中、65ドル水準では下げ渋った。米原油在庫は5週連続で減少し、過去5年レンジの下限付近に位置している。米ガソリン需要が堅調なこともポジティブ。需給緩和見通しの織り込みには慎重ムードも目立ち、65ドル水準では売買が交錯した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月20日時点）は、原油が前週比584万バレル減、ガソリンが208万バレル減、石油精製品が407万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

乱高下が一巡後の調整局面、米在庫とOPECプラス動向に注目

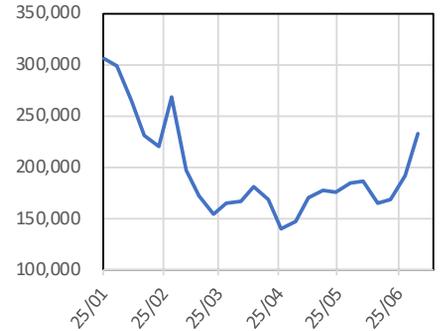
中東情勢は依然として不安定だが、このままイスラエルとイランの交戦が終結した状態が続けば、原油相場の急伸リスクは後退する。一連の軍事衝突でも原油供給に大きな混乱はみられず、このまま戦闘状態が終結すると原油相場を大きく押し上げる必要性は薄れることになる。停戦合意を維持し、更に再開が予定されている米国とイランの核協議に前進がみられると、60ドル台中盤で上値の重さを再確認する展開になろう。米原油在庫に改めてタイト感が浮上しているため、一気に値を崩す必要性は薄れているが、緩やかなペースで値下がりや打診する展開になろう。

前週は米原油在庫の取り崩しが、期近限月を中心に原油相場を下支えした。関税の影響もあって米原油輸入量が抑制される一方、ドライブシーズンで製油所向け原油需要は堅調に推移している。さらに原油在庫の取り崩しが進むと、大きく値を崩す可能性は低下する。

一方、7月6日に石油輸出国機構（OPEC）プラス会合が予定されており、サウジアラビアなど有志国の8月生産政策にも関心が高まりやすい。Reutersなどは、7月に続いて8月も日量41万1,000バレルの減産縮小（＝増産）が合意される可能性を報じている。実際に大規模な供給増加が続くとの見方が優勢になると、上値を抑えられやすくなる。

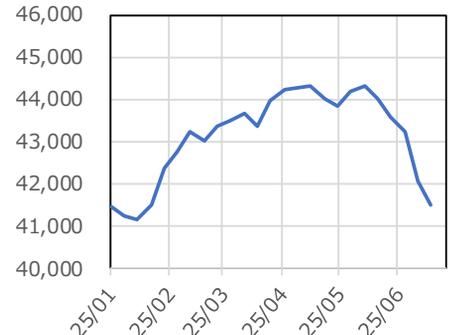
7月9日に米相互関税の上乗せ税率の期限が切れることで、通商環境も大きく変化しやすい。インドなど主要国との間で通商合意に達すると、株高連動で原油相場も底固くなりやすい。逆に通商環境を不安定化させる動きがみられると、調整売りが膨らみやすくなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



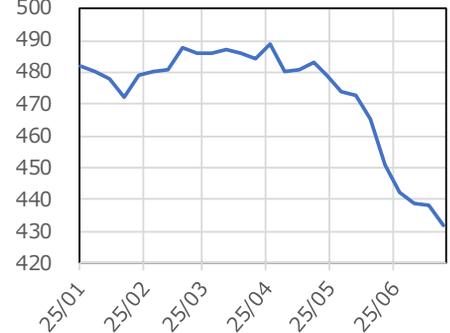
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

